



平成 23 年度 第 1 回 JASDI フォーラム 開催案内

主 催: 日本医薬品情報学会

共 催: 公益財団法人 MR 認定センター

日 時: 平成 23 年 10 月 15 日(土) 13:30~17:00

会 場: タイム24ビル1F HALL 1 東京都江東区青海2-4-32 (TEL:03-5531-0024)

(ゆりかもめ「テレコムセンター」駅下車 徒歩約2分)

<http://www.tokyo-bigsight.co.jp/time/access/index.html>

『PMSがMR活動を活性化する!』

— 薬物治療情報の医師・薬剤師・製薬企業の共有化 —

《フォーラムの狙い》

患者の要求が高まっている今日の医療において、医薬品の適正使用ならびに安全性確保の観点から、質の高い医薬品情報は欠かすことができない。一方、医師が薬物治療を行う(医薬品の処方行為)にあたってはEBMが欠かせないが、目前の患者に適用する場面では必ず医療現場の経験に照らすというプロセスが必要といわれている。

医師の処方を支える良質な医薬品情報を医療現場から効果的に収集し、解析・評価された医薬品情報を迅速かつ正確に医療現場にフィードバックし共有化できる体制が望まれるなかで、MRの役割について改めて考えてみたい。

《プログラム》

座長 近澤洋平(公益財団法人MR認定センター)

講演1 『市販後調査(PMS)に関する意識調査』から見えてきた課題

講師 若林 進 杏林大学医学部付属病院 薬剤部

講演2 医薬品情報の収集と提供活動:—当社の取り組みと課題—

講師 加藤誠一 アステラス製薬株式会社 医薬研修部長

講演3 医師・薬剤師・製薬企業の医薬品適正使用情報の流れ —現状と課題

講師 沼田佳之 エルゼビア・ジャパン Monthly ミクス編集長

座長 小久保光昭(ファーマ・ウィズダム・コンソーシアム)

講演4 医薬品情報の共有化の重要性とMRに期待する情報活動

講師 石見 陽 メドピア株式会社 代表取締役社長(医師・医学博士)

総合討論 座長 小久保光昭(ファーマ・ウィズダム・コンソーシアム)

参加費: 会員 3,000 円 非会員 5,000 円 学生・一般市民 1,000 円

申込方法: ①氏名 ②所属 ③連絡先(住所、TEL、FAX、E-mail)

④希望するフォーラムの種類(今回は第1回)を

E-mail: jasdi-forum11015@jasdi.jp あてに送信してください。

参加申込: 平成 23 年 10 月 11 日(締め切り)